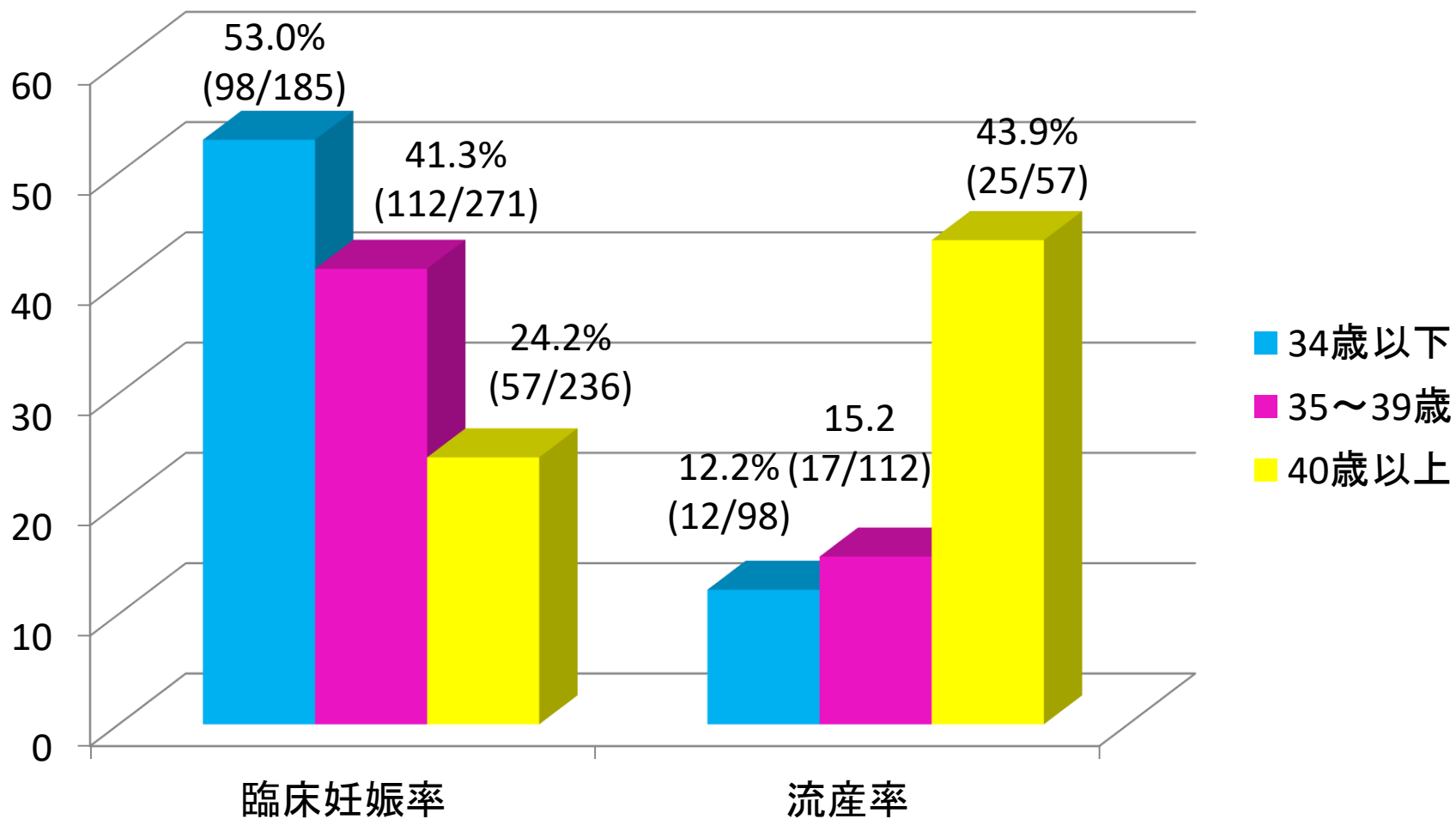
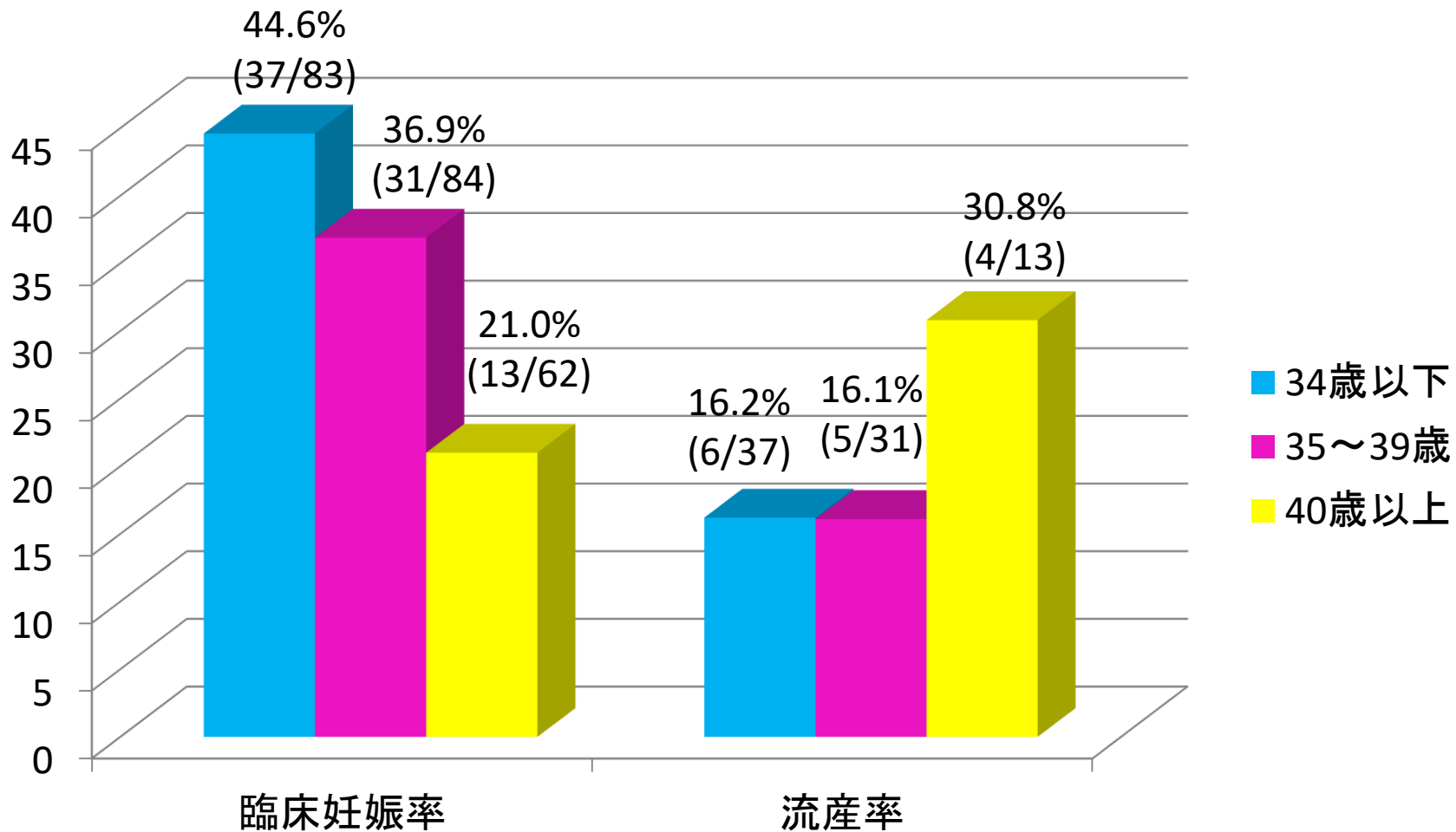


2015年の年齢別妊娠率および流産率

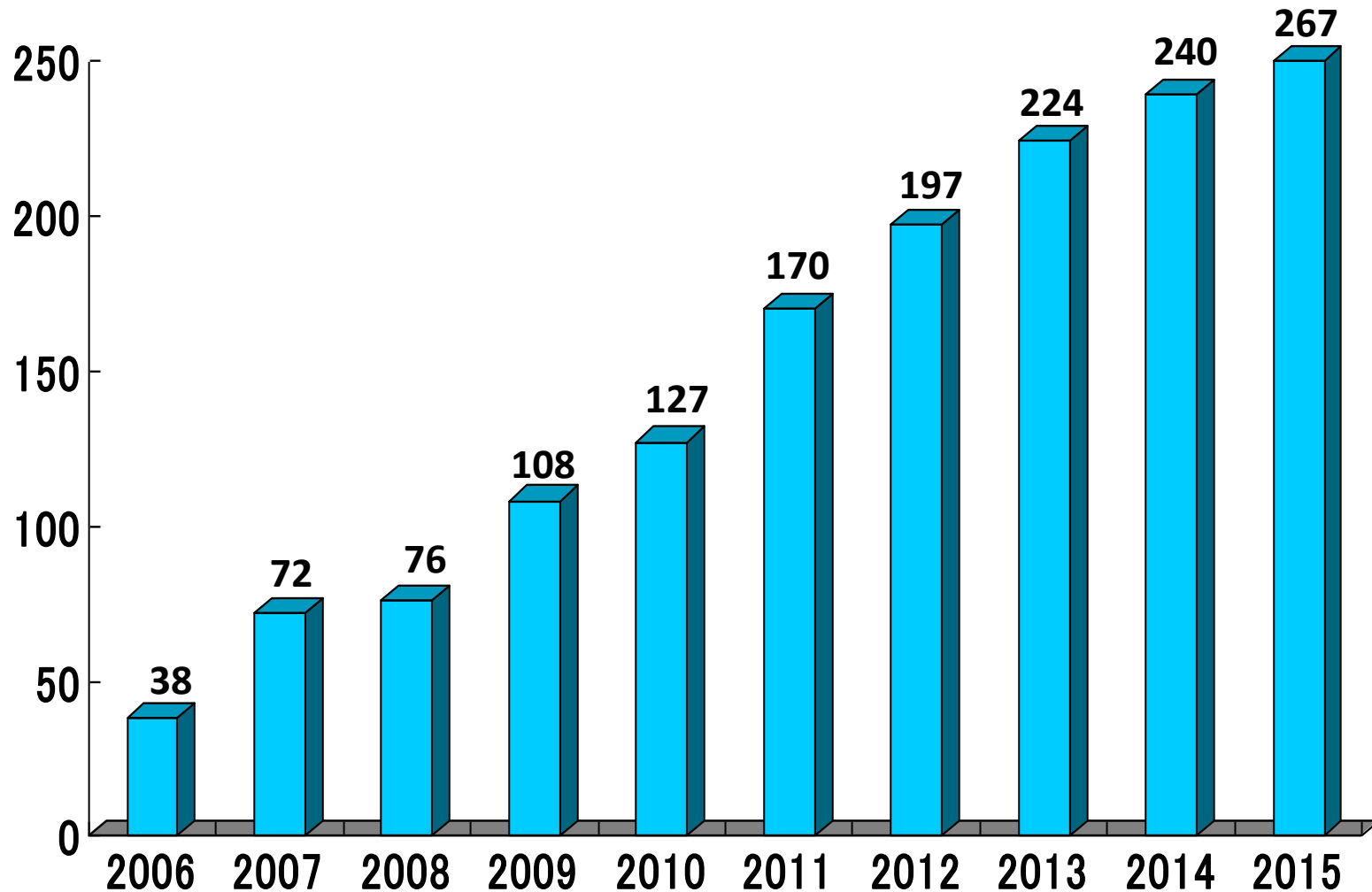


胚移植初回症例における2015年の 年齢別妊娠率および流産率



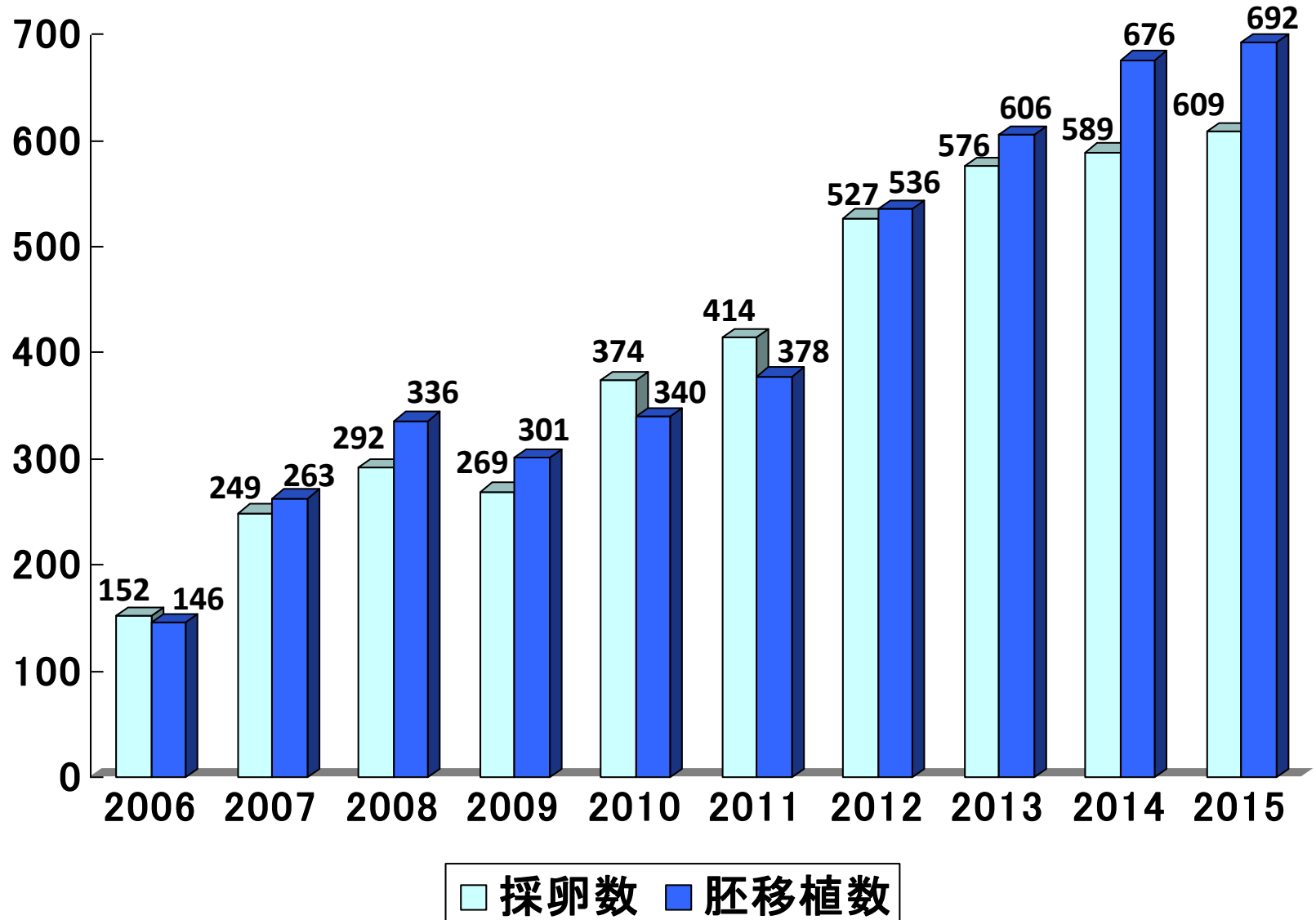
年別、臨床妊娠数(胚移植あたり)

年間臨床妊娠数は毎年増加しており、2015年は267名に達しました。
(臨床妊娠数は、超音波検査にて子宮内に胎嚢を確認した症例です。)



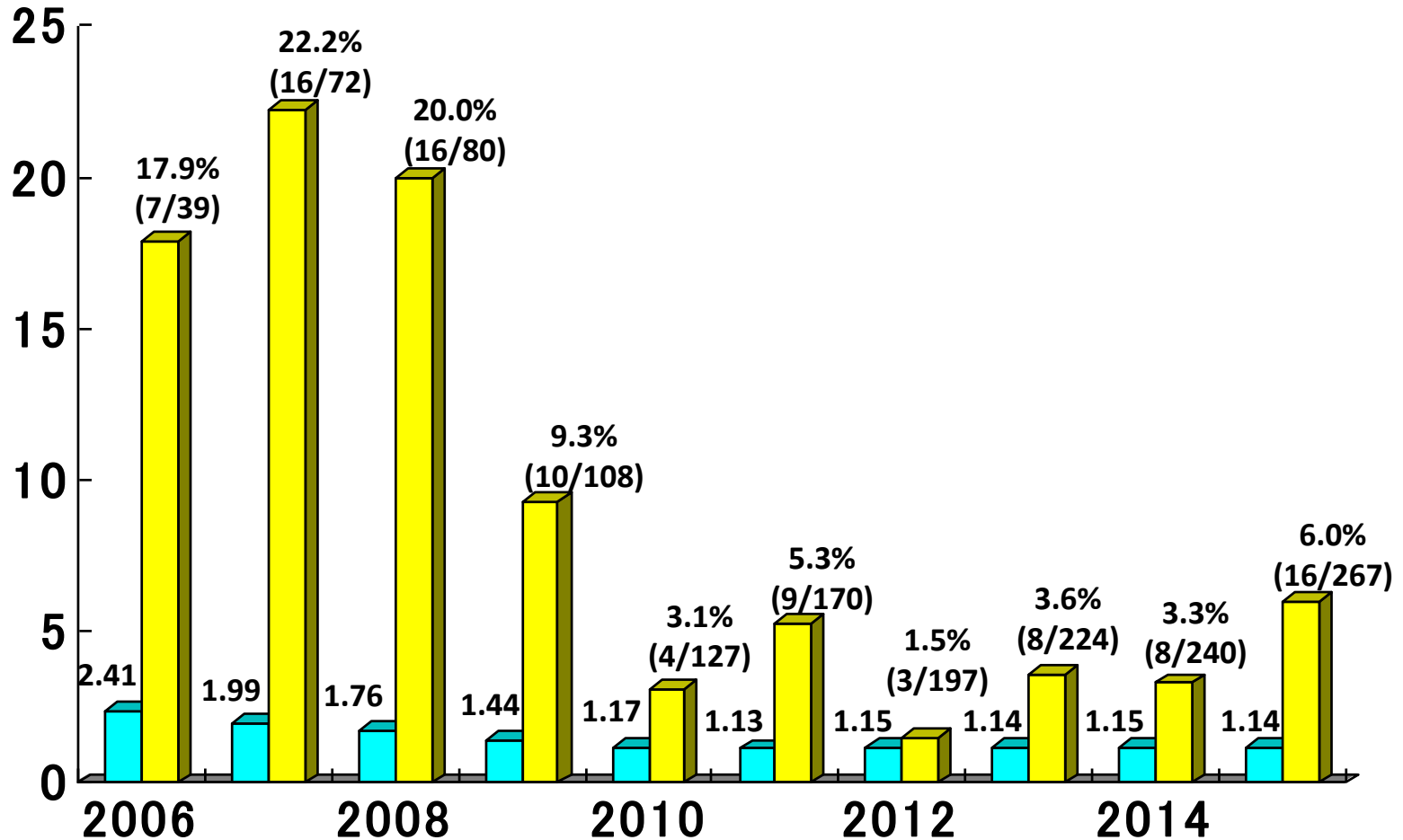
採卵数と胚移植数の年次推移

年間採卵数と胚移植数は毎年増加しており、2015年は採卵数が609例、胚移植数692例とこれまでの最大数に達しました。



平均移植胚数と妊娠当りの多胎妊娠率の年次推移

平均移植胚数は毎年減少してはきましたが、2010年からは横ばいとなっています。多胎妊娠率も、低値を維持しています。



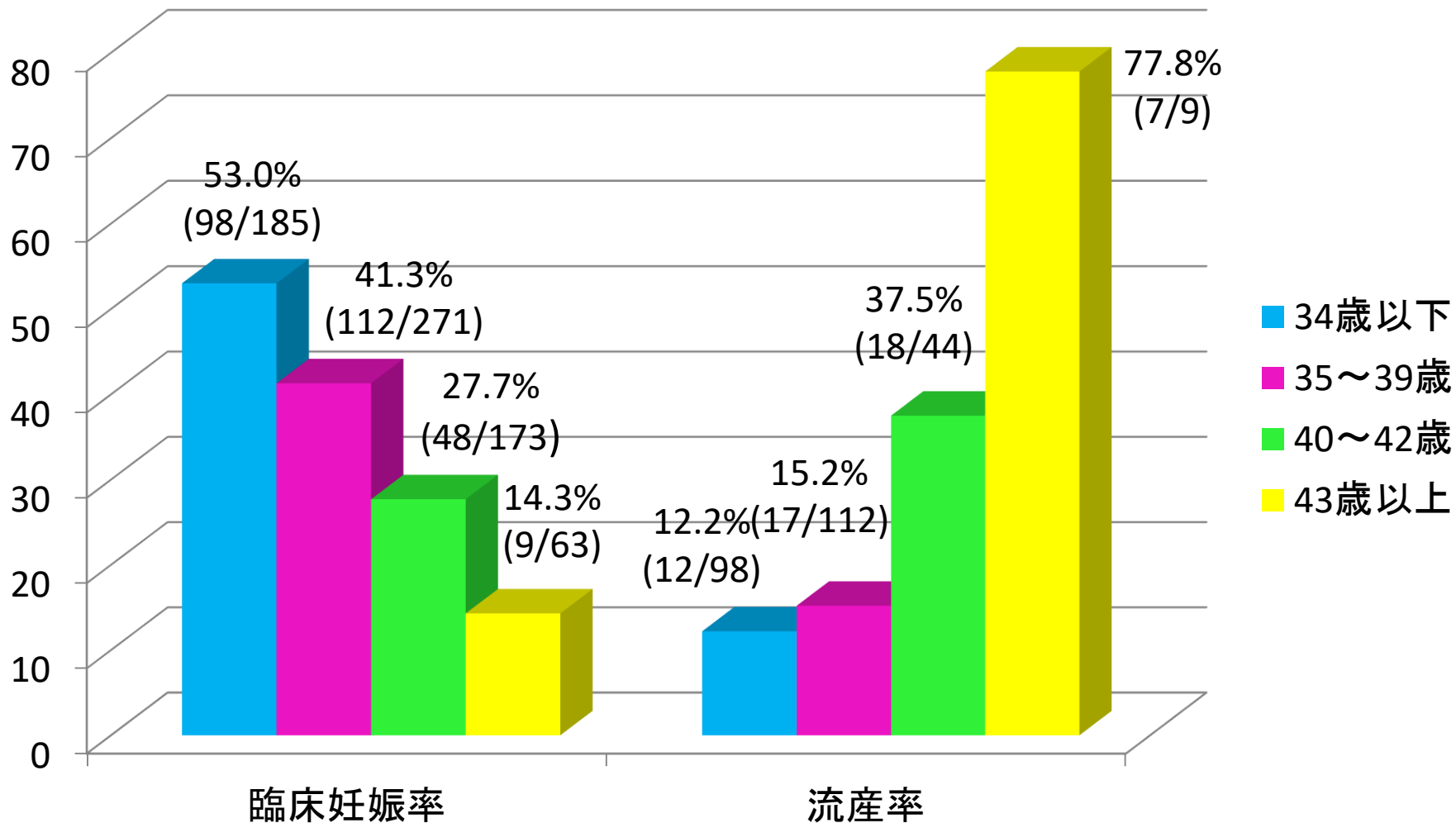
■ 平均移植胚数 ■ 多胎妊娠率

2015年 ART治療成績

- ・採卵数:609周期
 - 体外受精...237周期・顕微授精...316周期・
 - 体外受精＋顕微授精...32周期
- ・胚移植:692周期(新鮮胚移植 75周期、
凍結胚移植 617周期)
 - 平均移植個数 1.14 ± 0.35 個
 - 平均年齢(胚移植あたり) 37.3 ± 4.3 歳
- ・妊娠:267周期(妊娠率:38.6%)
 - (34歳以下 53.0%、35～39歳 41.3%、
40～42歳 27.7%、43歳以上 14.3%)
- ・妊娠反応陽性率:44.4%(妊娠反応陽性数 307例)
- ・多胎妊娠率:6.0%(多胎妊娠数 16例)
- ・流産率:20.2%(流産数 54例)

- ・タイミング療法:妊娠数 102例
- ・人工授精:症例数 1044周期 妊娠率:6.1%(64例)

2015年の年齢別妊娠率および流産率



胚移植初回症例における2015年の 年齢別妊娠率および流産率

